

平成23年12月8日

総合政策局海外プロジェクト推進課

「第8回 日仏ITSワークショップ」開催結果について（お知らせ）

国土交通省は、フランス国エコロジー・持続可能開発・運輸・住宅省（MEDDTL）とともに、2009年1月に結ばれた「日本国国土交通大臣とフランス共和国国務大臣、エコロジー・エネルギー・持続可能な開発・国土整備大臣との間の高度道路交通システム分野における覚書」に基づき、「第8回 日仏ITSワークショップ」を、下記のとおり開催しましたので、お知らせします。

記

1. 日程 : 平成23年（2011年）11月29日（火）～30日（水）

2. 場所 : 三田共用会議所（東京）

3. 主催 : 日本国国土交通省、フランス国エコロジー・持続可能開発・運輸・住宅省

4. 参加者 :

（日本側）国土交通省石川海外プロジェクト推進課長を共同議長に、海外プロジェクト推進課、道路局、自動車局、国土技術政策総合研究所ほか

（フランス側）エコロジー・持続可能開発・運輸・住宅省（MEDDTL）ジャンナンITS参事官を共同議長に、エコロジー・持続可能開発・運輸・住宅省（MEDDTL）、国立科学・テクノロジー・交通・開発・ネットワーク研究所（IFSTTAR）、アジア-欧州貿易電子化連盟（ASEAL）

5. 経緯 :

2002年1月、「交通に関する大臣会合」の際、ITS分野で専門家・実務者による会合を開催することを、日仏両国の大臣レベルで合意。2009年1月の「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」時の2ヶ国会談で大臣間の覚書に署名。

6. 会議結果概要 :

- フランスからはインフラ・交通・海洋総局のジャンン ITS 参事官を始め、5名の ITS 関係者が参加し、両国による取り組みならびに意見交換が行われました。
- 日本側からは、国土交通省における現在の ITS についての取り組み状況、先進安全自動車 (ASV)、ITS に関する最近の研究活動、プローブデータを使った渋滞情報収集や提供の仕組み、および道路部門における ITS を用いた CO2 排出削減に関する研究について紹介し、議論いたしました。
- フランス側からも、フランスにおける ITS についての取り組み状況、CO2 排出量の算出表現方法、ペーパーレス化による物流における CO2 削減の取り組み、日米欧が共同で進めている ITS を使ったエネルギー効率化に関する研究、様々な輸送手段に対する共通化した課金方法について紹介し、議論いたしました。
- フランス側から日本の技術に対し多くの質問が寄せられるなど、両国のそれぞれの ITS に関する研究や技術について双方から質問がなされ、両国の ITS 技術の発展に向けた活発な議論が行われました。
- フランス側より、来年のフランスにおけるワークショップ開催について提案がなされ、今後も両国の協力を深めていくことが確認されました。

7. 会議開催状況 :



会 議 開 催 状 況

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 奥田・笹木

代表 03-5253-8111 (内線: 25803, 25816)

夜間直通 03-5253-8315